

## 日蓮正宗から離れて 大聖人の仏法はありません

### 大聖人の仏法を継承する日蓮正宗

日蓮大聖人の仏法の根本である本門戒壇の大御本尊と、唯授一人の血脈は、富士大石寺に伝えられています。

この大石寺を総本山と仰ぎ、日蓮大聖人の仏法を実践して、広宣流布をめざしている唯一の宗団が「日蓮正宗」です。

かつて池田第三代会長は、

「今日、日蓮正宗創価学会がこのように発展し、短期間に正法流布の根を深く広くはるることができたのも、日蓮正宗の伝統の根が深いということにほかならない」（広布と人生を語る第1巻）と指導したように、学会員は、日蓮正宗の信徒として大きな功德を受けてきたはずです。

### 変わり果てた創価学会

破門後の学会は、宗門があたかも変質したかのように「日顕宗」と呼び捨て、会員も眉をひそめる口汚い非難をしております。

実際は、戒壇の大御本尊を捨て、仏法の指導者を池田大作にすり替え、変わり果てたのは創価学会です。古くからの会員の皆様は、実感していることでしょう。

戸田会長が、「創価学会の信者なんかあるわけがないじゃないか。みんな日蓮正宗の信者だよ。」（「戸田城聖先生の教え」質問会の部 No.2 レコード盤）と指導したように、日蓮正宗から離れた創価学会には、日蓮大聖人の仏法は何も存在しないのです。

## 「悩みが解決しない」と 困っている方へ

学会員からの悩み相談の多くは、「御本尊を拝んでいるが良くならない」「組織の人間関係で悩んでいる」「家庭内の問題で困っている」「相談できる幹部がない」「金銭問題で困っている」「病気でつらい状況にある」「組織の人たちがおかしい」といったものです。

幹部に指導を受けても「お題目が足りないからよ」「あなたが悪い」などと指摘されるだけという傾向にあり、不快に思う会員も少なくありません。

相手の悩みを親身に聞き、丁寧に指導してくれないのでは、何のための宗教団体なのでしょうか。

ご自身、ご家族の悩み・問題の解決のためにも、どうぞ寺院、法華講員にご相談ください。



### 日蓮正宗 法遍寺

愛知県尾張旭市城山町三ツ池 6075 番 1  
☎0561-54-9226



大切なお知らせ

「池田先生のために」と  
活動する学会員の方へ

正しい師弟相對の信心のために



## 創価学会第三代会長・池田大作指導

「我が創価学会は、日蓮正宗の信徒の団体であります。したがって、私どもは大御本尊様にお仕え申し上げ、御法主上人猊下に御奉公申し上げることが学会の根本精神であると信じます」(昭和35年5月3日 会長就任挨拶)



それでも「池田先生のために」と活動しますか？

### 本尊観

平成5年5月3日(池田発言)  
上智大学教授との対談で、  
「宗教の究極は、板曼荼羅ではなく、久遠元初の法である」(趣意)  
→大聖人の仏法の本尊義を否定する大謗法です。

### 師弟観

「御法主上人猊下様は遣使還告で、日蓮大聖人様と拝し奉るのです。」(『巻頭言・講義集』第3巻)  
「御法主上人猊下御一人が仏法の師でいらっしゃる」  
(広布と人生を語る 第3巻)  
→自身が「永遠の指導者(仏法の師)」とすり替え。

### 大聖人直結

池田創価学会は、唯授一人の血脈を否定し、「大聖人直結」の信心を教えています。  
→大聖人の御化導に、学会がいう「大聖人直結信仰」はありません。日興上人は、「この法門は、師弟子を正して仏になり候。師弟子だにも違ひ候へば、おなじ法華をたもちまいらせて候へども、無間地獄に墮ち候也。」(佐渡国法華講衆御返事)と正しい師弟相対の信心に背く信仰は、墮地獄と御教示されています。

### 学会こそが大御本尊に通じる

学会の「信心」こそが「一間浮提総与の大御本尊」に深く通じ、大功德を頂戴してきた。  
(平成3年12月8日指導『池田大作全集79』)  
→平成26年11月、大御本尊への信仰を捨てました。

### 広布基金がたくさん取れる

「お世辞を使っておいた方が、広布基金がたくさん取れることを、私は声を小さくして申し上げておきます。」(アメリカ SGI& 関西合同総会・平成5年1月27日)  
→「必要経費は、会員の真心の自由意志にまかせ」と人間革命第6巻で述べていました。

### 反逆者は永久に許さない

「学会の反逆者を書き連ね、その罪科を、血涙をもって後世に残したい。永久追放の証としたい。」  
(平成6年9月2日付 聖教新聞)  
→もはや宗教者とはいえないのではないですか。

### 野望実現のため

「私は最高権力者になる。そのときには創価学会を解散してもいい」(『現代』昭和45年7月号)  
→自身の目的が達成すれば学会はいらないようです。

## 創価学会のニセ本尊

### 開眼は正宗のみの深秘の法門 他宗がマネれば恐ろしい毒薬

「われわれがいただいている御本尊様も、文底事の一念三千、真の草木成仏の理によって開眼された、これまた生身の御本仏様であります。



この御本尊様こそ、真の本絵二像開眼の御姿でなくてなんでありましょうか。これは日蓮正宗以外の邪宗では絶対になしえないところであり、ただ日蓮正宗のみのもつ深秘の法門であります。邪宗がいくら日蓮正宗の御本尊をマネて作ってみたところが、それこそ馬の骨なのであります。否、恐ろしい毒薬の働きをもつのであります」(戸田会長指導『大白蓮華』第62号)

### 戸田会長に背いた池田大作

### 過去にもニセ本尊造りの大罪

創価学会は、平成5年10月、すでに邪宗の寺となっていた栃木県・浄園寺所蔵の日寛上人御書写の御本尊を、複製・変造して配布をはじめました。

学会によるニセ本尊造りは昭和49年頃からで八体が確認され、学会本部の御本尊もその一つでしたが、発覚後、学会側が陳謝したため、唯一学会本部・大誓堂にその御本尊だけが安置されている。



←こちらは、池田に下付された御守り御本尊を拡大し板御本尊にしたもの。「東北を厳然と守りたい。なかなかおじゃまできないので」と説明し会館に安置した。

御金言「師なりとも誤りある者をば捨つべし」(曾谷殿御返事)

ニセ本尊は魔の通力を現ずる魔札